

2022年3Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

1. 動向

2022年7-9月の延べ宿泊者数（全体）は「1,762,110人」、前年同期比で「+57.1%」でした。

日本人延べ宿泊者数は「1,748,020人」、前年同期比で「+57.0%」でした。

外国人延べ宿泊者数は「14,090人」、前年同期比で「+74.8%」でした。

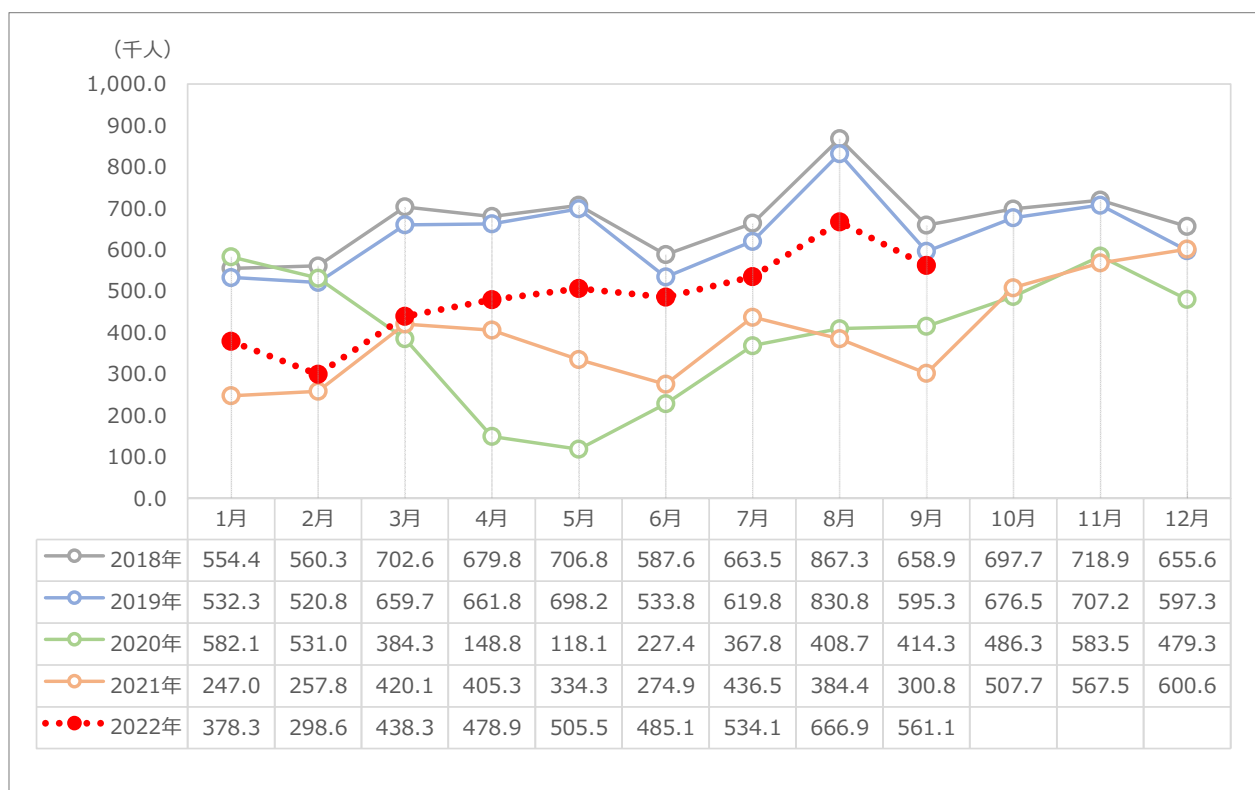
2. 延べ宿泊者数

総数：	1,762,110	人	（前年比： + 57.1 %）
7月：	534,120	人	（前年比： + 22.4 %）
8月：	666,880	人	（前年比： + 73.5 %）
9月：	561,110	人	（前年比： + 86.5 %）

※前年比・・・2021年3Qとの比較

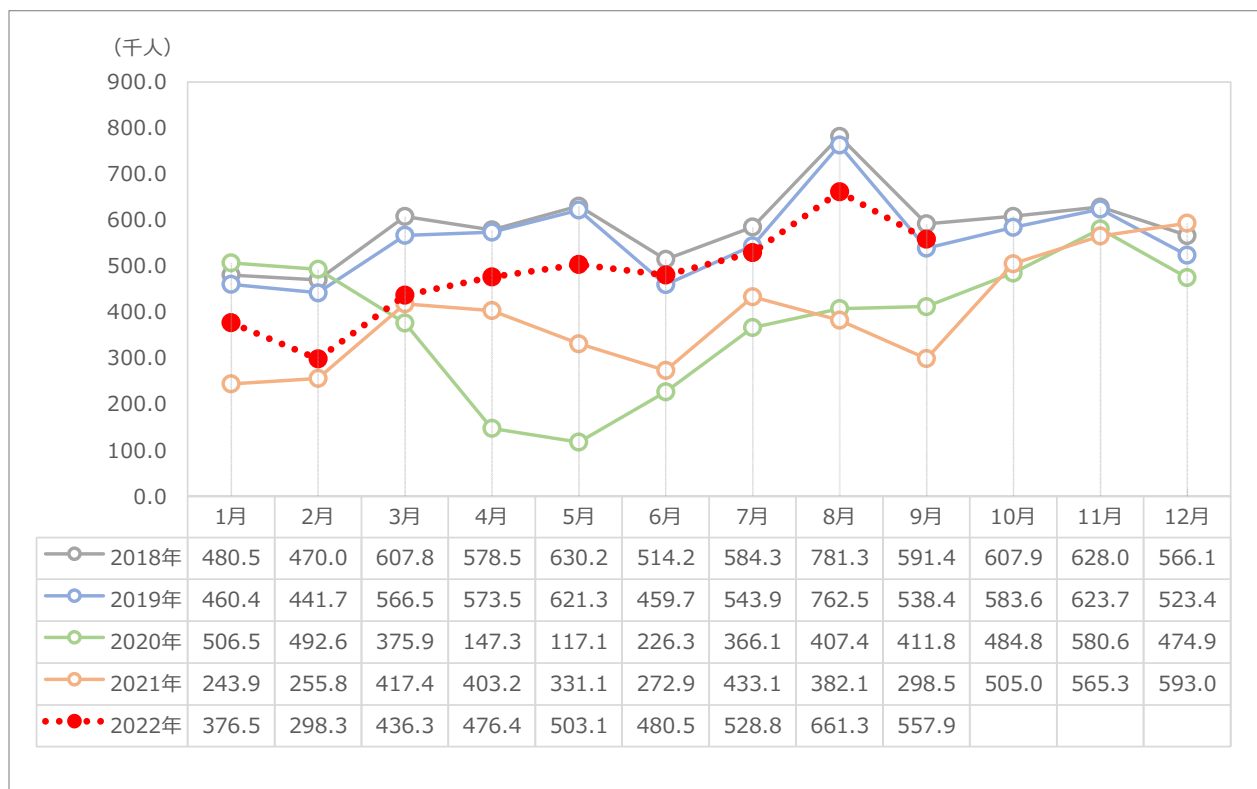
3. 推移

① 延べ宿泊者数（全体）

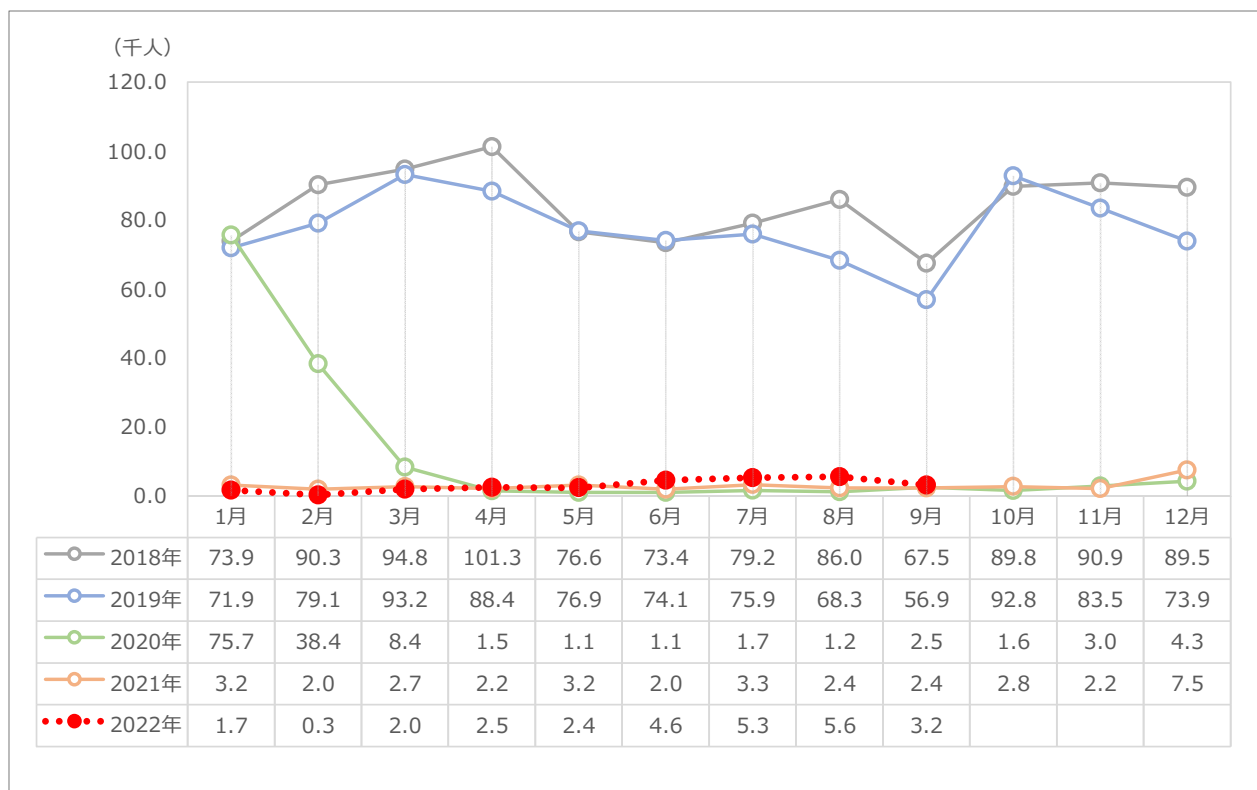


2022年3Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

② 日本人延べ宿泊者数

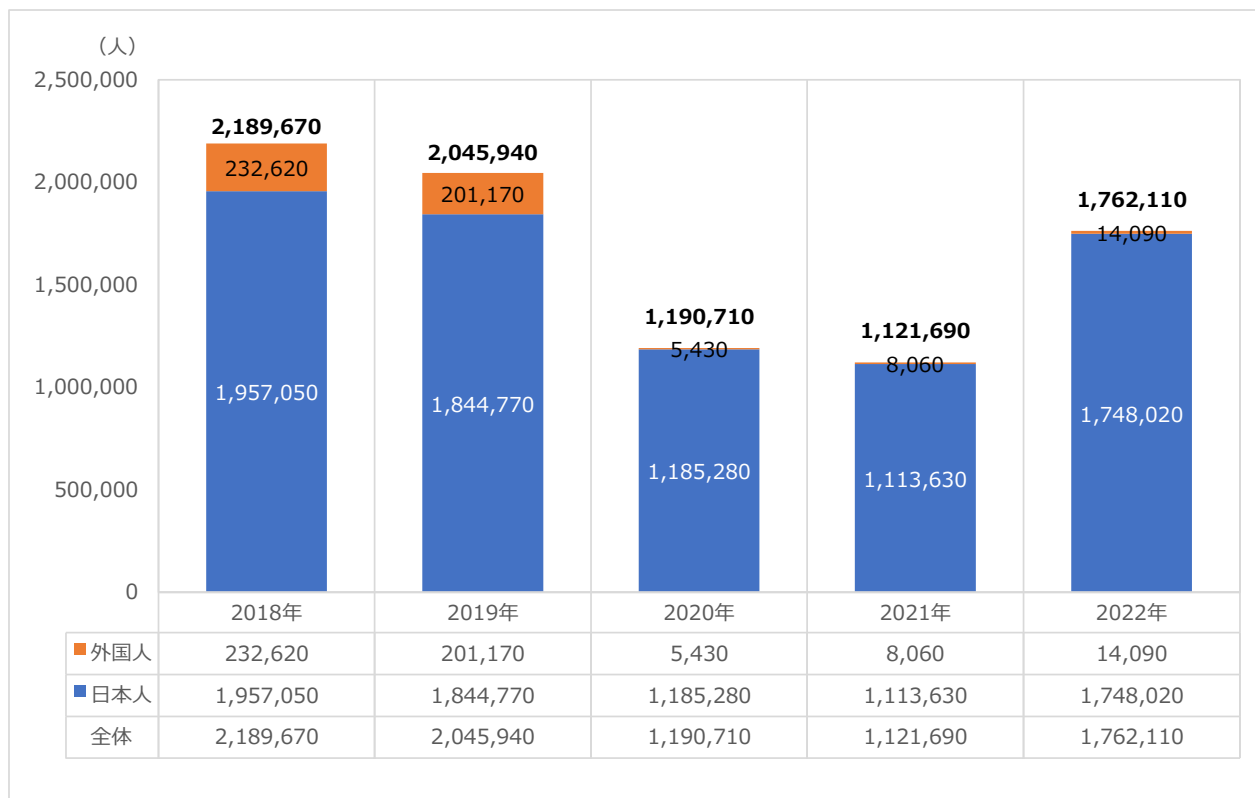


③ 外国人延べ宿泊者数

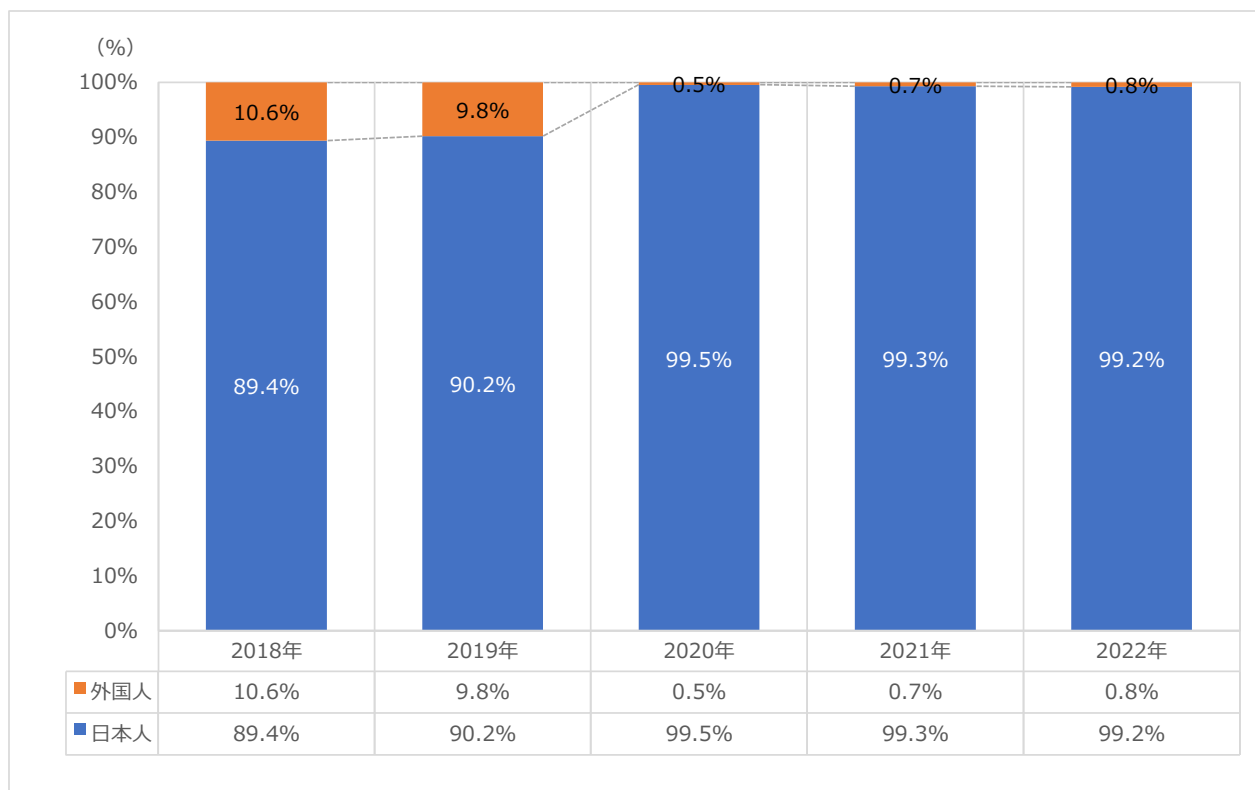


2022年3Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

4. 日本人・外国人別宿泊者数



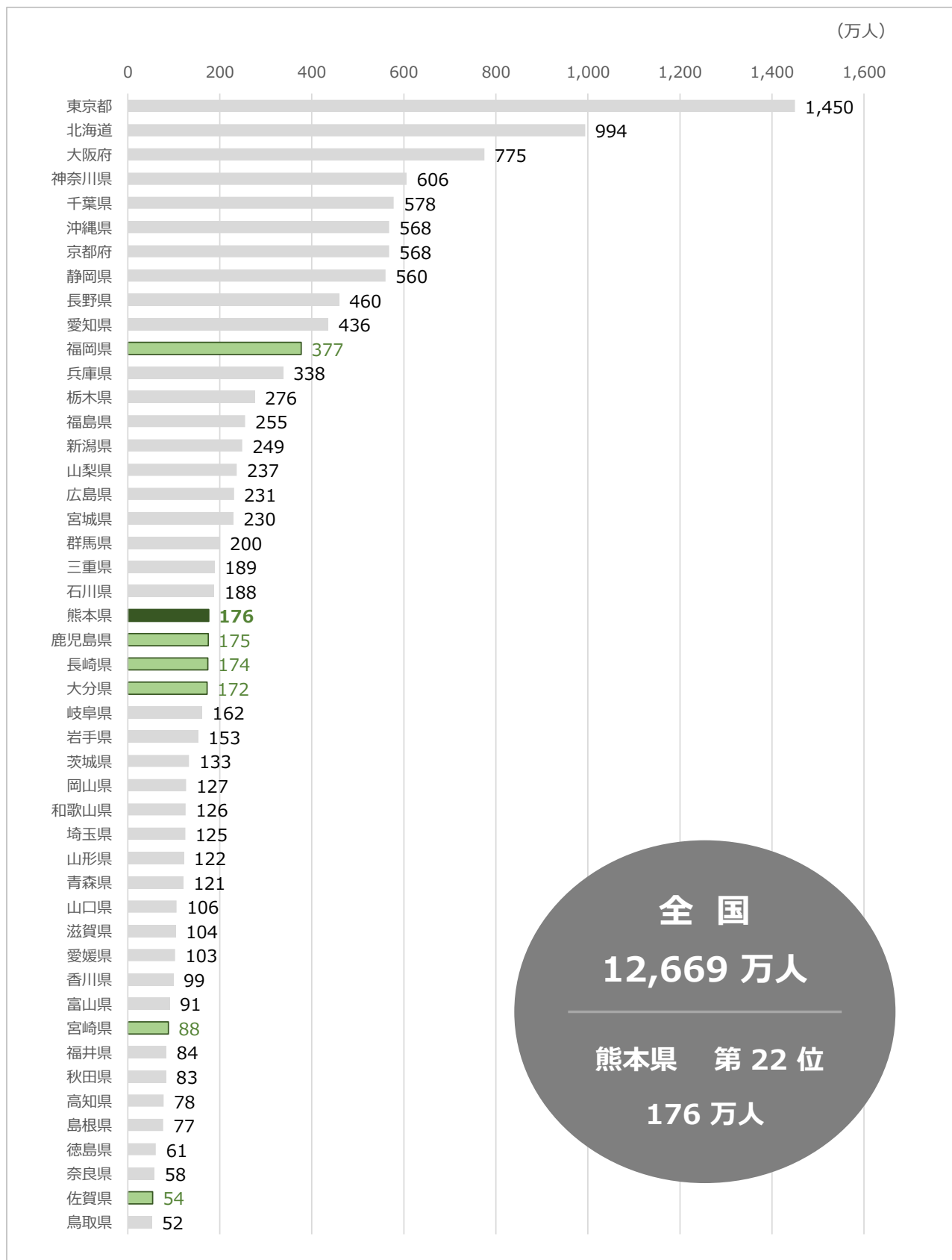
5. 日本人・外国人別割合



2022年3Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

6. 都道府県別延べ宿泊者数

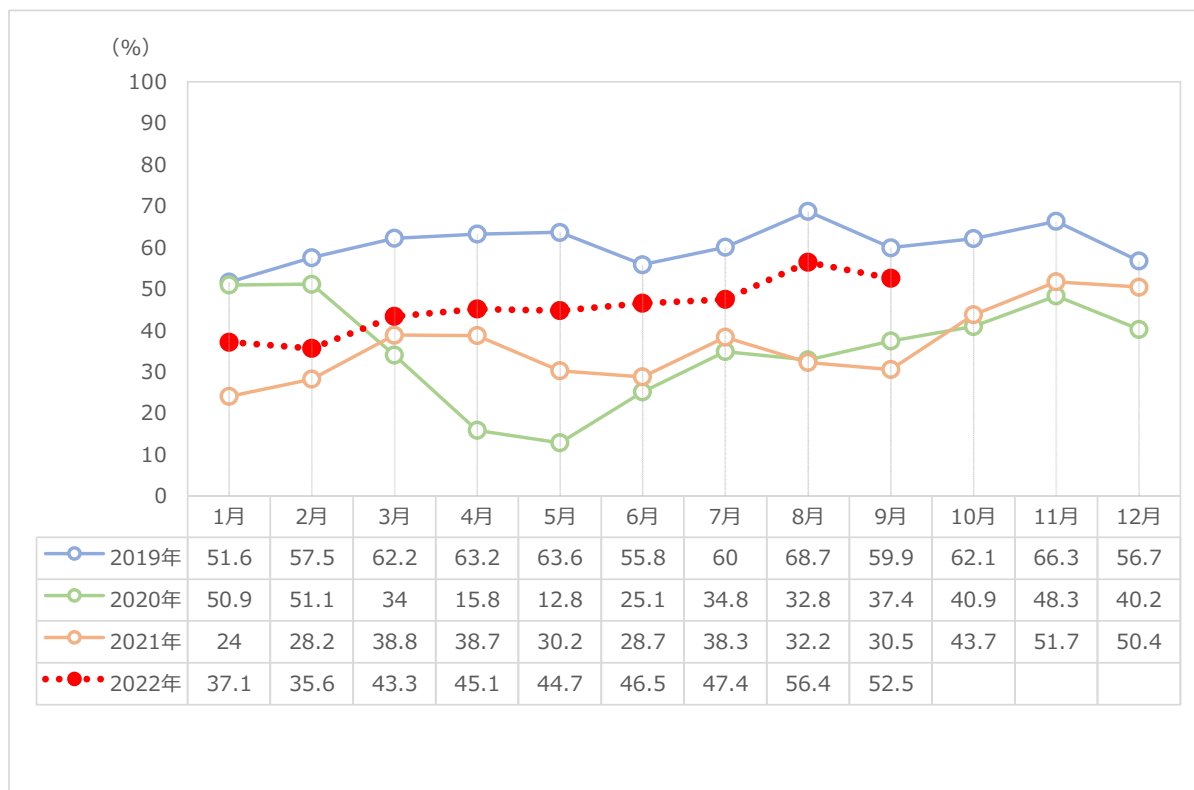
※熊本県および九州各県（沖縄県を除く）は強調色を採用



2022年3Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

7. 客室稼働率

① 推移



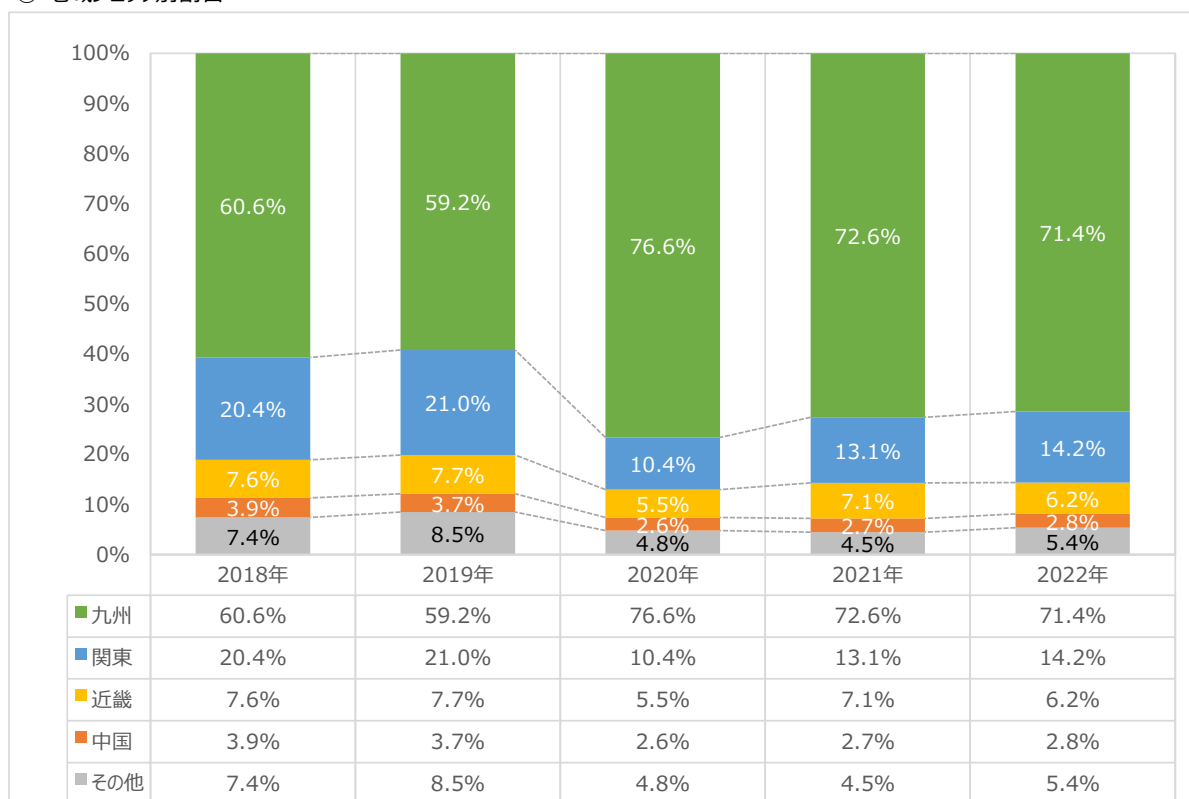
① 施設別稼働率

施設	2021年			2022年		
	7月	8月	9月	7月	8月	9月
全体	38.3%	32.2%	30.5%	47.4%	56.4%	52.5%
旅館	27.7%	24.3%	18.9%	32.9%	44.3%	38.1%
リゾートホテル	23.1%	20.9%	14.6%	34.5%	42.4%	39.1%
ビジネスホテル	50.8%	41.9%	44.3%	61.5%	71.0%	65.6%
シティホテル	47.9%	40.5%	35.4%	56.6%	57.4%	56.4%
簡易宿所	14.4%	16.1%	12.4%	12.6%	28.0%	27.7%
会社・団体の宿泊所	24.5%	11.2%	3.5%	22.3%	44.4%	54.4%

2022年3Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

8. 国内発地別延べ宿泊客数（従業者数100人以上の施設）

① 地域ブロック別割合



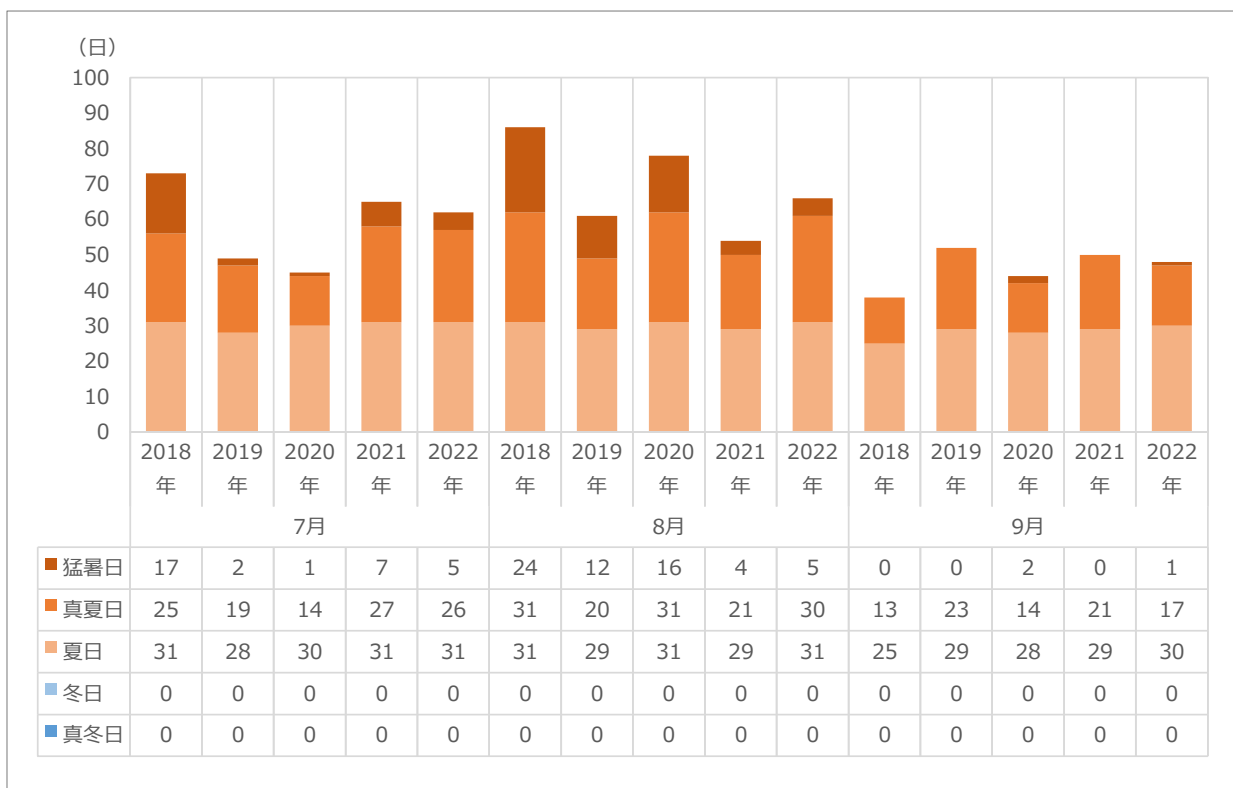
② 都道府県別順位（上位10都道府県）

ランキング	2021年		2022年	
1	熊本県	25,647人	熊本県	33,168人
2	福岡県	17,863人	福岡県	28,459人
3	東京都	5,252人	東京都	8,106人
4	大阪府	2,479人	鹿児島県	6,771人
5	鹿児島県	2,028人	神奈川県	4,025人
6	神奈川県	1,793人	長崎県	3,970人
7	大分県	1,509人	大分県	3,525人
8	佐賀県	1,341人	宮崎県	3,242人
9	宮崎県	1,323人	大阪府	3,025人
10	兵庫県	1,240人	佐賀県	2,115人

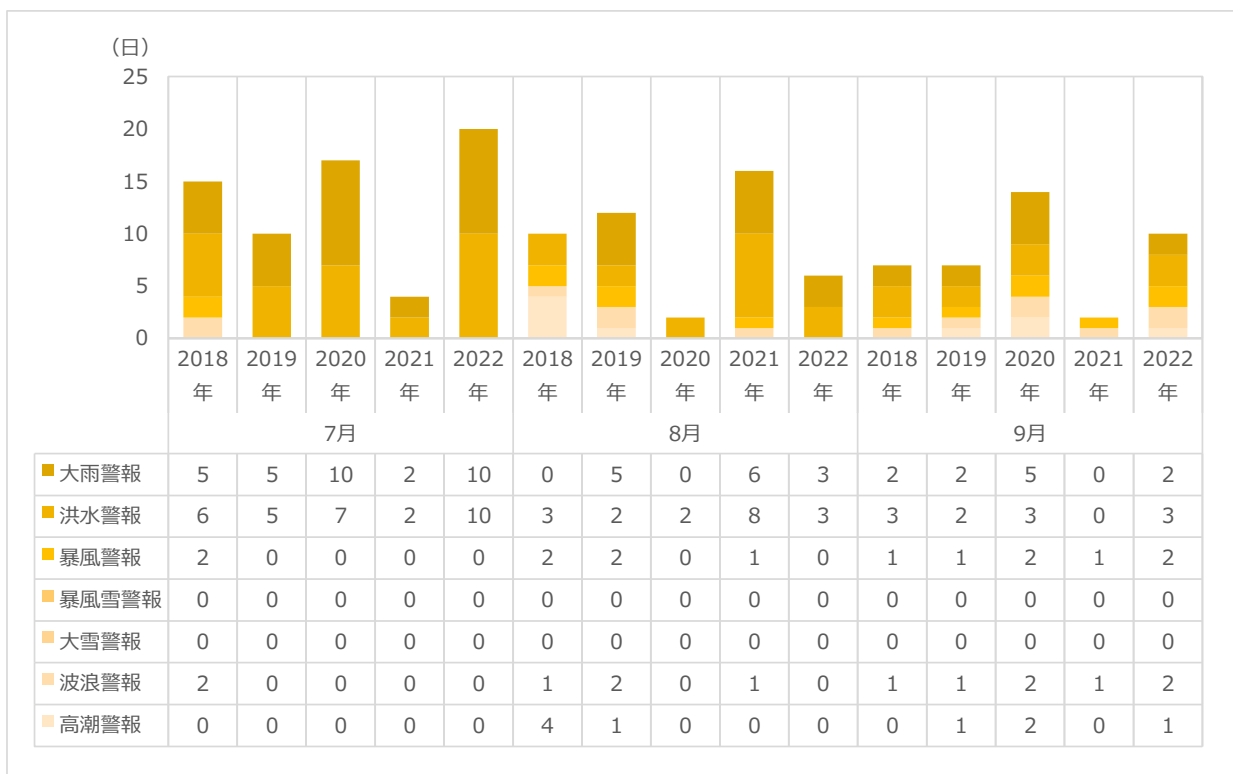
2022年3Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

9. 気象情報

① 真冬日・冬日、夏日・真夏日・猛暑日の観測日数（熊本観測所（熊本市））



② 県内警報発令日数



2022年3Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

10. 地域のトピックス、観光シーズンの動向など【特記事項がない場合は空欄】

▽ 地域のトピックス ▽

- ・宇土市でONE PIECE「ジンベエ像」除幕式（7/23）
- ・熊本県、県内全域にBA・5対策強化宣言を発令（8/2）
- ・コロナ禍で休止が続いた九州唯一の常設バンジージャンプ施設「五木バンジー」が営業再開（8/20）
- ・熊本県、BA・5対策強化宣言を解除（9/16）

- ・「くまもと再発見の旅」実施（エリア：熊本県全域、対象：九州在住者（W）、宿泊期間：3/22～※）

（W）：ワクチン接種証明、もしくは検査による陰性証明が必要
※3/31までは熊本県民のみ、4/1から佐賀県・大分県・宮崎県・鹿児島県、4/4から長崎県、4/8から福岡県の在住者を対象に追加

▽ 観光シーズンの動向 ▽

7月上旬から8月下旬にかけて、新型コロナウイルスの感染が再拡大し、8/2には熊本県全域にBA・5対策強化宣言が発令された。感染拡大により宿泊者数回復ペースは鈍化したものの、「くまもと再発見の旅」など各種キャンペーンが概ね継続されたことから、宿泊需要は大きく落ち込まなかった。感染状況が落ち着いた9月には、観光需要の回復が再び加速し、同月は6月以来3カ月ぶりに、日本人宿泊者数が2019年同月上回っている。

熊本県宿泊旅行統計調査について

- 本調査は以下を調査結果として表章しています。
 - 延べ宿泊者数、発地別宿泊者数・割合、調査対象施設数、有効回答数・回答率、国籍（出身地）別宿泊者数・割合
観光庁が実施する「宿泊旅行統計調査」の調査票情報の提供を受けて県内11の地域ごとに推計または集計した値
※2018～2021年は確定値、2022年は第2次速報値を採用
※新型コロナウイルス感染拡大に伴う入国規制の影響で、外国人延べ宿泊者数が著しく少ないことから、「国籍（出身地）別外国人者数延べ宿泊構成比」「国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数・割合」の掲載を見送っている。
 - 気象情報
気象庁および一般財団法人気象業務支援センターが提供するオープンデータをもとに集計した値
 - 地域のトピックス
メディア（TVや新聞など）のデータベースから県内11の地域ごとに観光に関連する情報を収集したもの
 - 観光シーズンの動向
「DATASALAD」（公益財団法人九州経済調査協会）の宿泊稼働状況指数、「観光予報プラットフォーム」（観光予報プラットフォーム推進協議会）の宿泊実績から県内11の地域ごとに動向をまとめたもの
- 推計方法は、標本調査結果を母集団に拡大する「ウェイトバック集計」により県独自で算出しています。
- 調査結果の整合については以下に注意が必要です。
 - 本調査内の数値
端数処理（表記のひつつ下の位で四捨五入）により内訳とその合計に差異が生じることがあります。
国籍（出身地）別は従業者数10人以上の施設を対象とした調査であるため、その合計は外国人延べ宿泊者数と一致しません。
 - 他の同類・類似調査
調査ごとに仕様が異なるため同類・類似調査であっても結果に差異が生じ、その程度は大小さまざまになることが想定されます。
⇒ 仕様：調査の目的や手法、入手する情報やその時期など

* 本レポートの対象市町村は「県内全市町村」です。